

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年9月14日（木）

### 2 確認箇所

- (1) 5・6号機敷地護岸ヤード
- (2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送配管ベント弁

### 3 確認項目

- (1) 多核種除去設備等処理水希釈放出の準備作業の状況
- (2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況

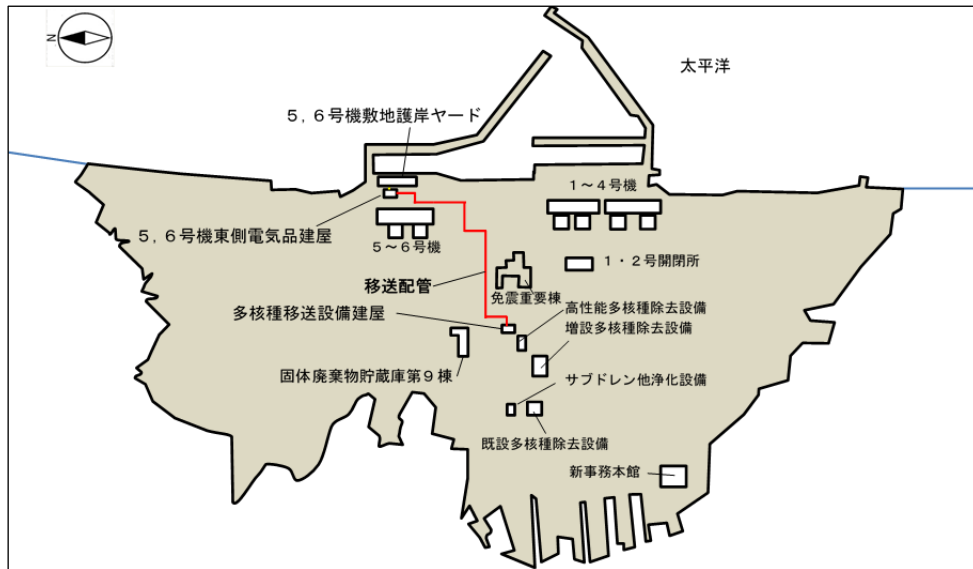
### 4 確認結果の概要

- (1) 多核種除去設備等処理水希釈放出の準備作業の状況について

多核種除去設備により、汚染水から放射性物質（トリチウムを除く）が安全に関する規制基準を確実に下回るまで浄化されていることを確認した水（以下「ALPS処理水」という。）は、今年度は4回に分けて放出される計画であり、第1回の放出は9月11日に完了した。

第2回の放出に向けて放水立坑（上流水槽）（以下「上流水槽」という。）内の水を放水立坑（下流水槽）（以下「下流水槽」という。）に移送する作業が9月12日から実施されていることから、その状況について確認を行った。（図1）（前回確認：[9月12日](#)）

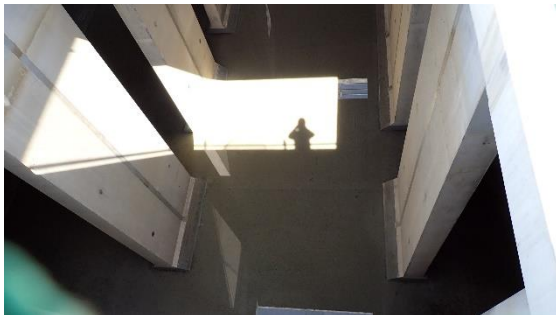
- ・水の移送のために上流水槽蓋開口部に設置されていた水中ポンプ及び耐圧ホースが撤去され、開口部付近に仮置きされていた。（写真1）
- ・上流水槽蓋開口部から上流水槽内部を確認したところ、上流水槽内部床面が確認できる程度まで水位が低下していた。今後、準備が整い次第、点検が実施される予定。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
上流水槽蓋開口部付近の状況



(写真2)  
上流水槽内部の状況

(2) 多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況について  
9月6日にALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外移送配管ベント弁フランジ部の漏えい警報が発生した。この事象は発生当日における東京電力の調査によりALPS処理水が漏えいしたものではないと判断された。昨日の現地確認において弁保温材の復旧作業が行われていたことから、昨日に引き続き当該ベント弁の状況について確認を行った。(前回確認：9月13日)

- ・当該ベント弁には防水カバーが設置され、さらにビニールシートにより2重に養生されていた。(写真3)



(写真3)  
漏えい検知器が発報したベント弁の復旧状況

#### 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。